

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【公開番号】特開 2006-149779 (P2006-149779A)
 【公開日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-023
 【出願番号】特願 2004-346387 (P2004-346387)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 B

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を誘導するための球通路を備えた遊技機において、
 前記球通路が 2 本並設された部位において、
 前記 2 本の球通路のうちの一方である第 1 球通路を通過する遊技球を検出可能な第 1 検出手段と、他方の第 2 球通路を通過する遊技球を検出可能な第 2 検出手段とを一体化した球検出手段を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記球検出手段は、本体部と、当該本体部から突設された発光部と、当該発光部と対峙するように前記発光部の両側においてそれぞれ前記本体部から突設された第 1 受光部及び第 2 受光部とから構成され、

前記発光部及び前記第 1 受光部により前記第 1 検出手段が構成され、

前記発光部及び前記第 2 受光部により前記第 2 検出手段が構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記発光部は、1 つの発光素子を内包するとともに、前記第 1 受光部及び前記第 2 受光部と対峙する側にそれぞれ前記発光素子が発する光を透過させる透孔を備え、

前記第 1 受光部及び前記第 2 受光部は、それぞれ 1 つの受光素子を内包するとともに、前記発光部と対峙する側において前記発光素子からの光を受光するための透孔が設けられていることを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。